

行事等案内

第 2 回 家 畜 感 染 症 学 会 シ ン ポ ジ ウ ム

テーマ：家畜の栄養と感染症との関係を考える

日 時：2012年6月15日(金) 10:30～16:30

場 所：農林水産省共済組合 南青山会館

内 容：

①教育講演

「哺育子牛の栄養管理の変遷」

齋藤 昭 (全酪連酪農生産指導室)

②ランチョンセミナー

「牛感染症におけるワクチン」

函城悦司 (株微生物化学研究所)

③総 会

④シンポジウム

・「子牛の栄養と感染症」

福島護之 (兵庫県北部農業技術センター)

・「乳牛の成長および生産における代謝・内分泌機能の特徴」

櫛引史郎 (独農研機構畜産草地試験所)

・「肥育牛の栄養と感染症(仮)」

木村信熙 (日本獣医生命科学大学)

・総合討論

⑤アンケート報告

「呼吸器疾患に関するアンケート報告」

佐藤礼一郎 (麻布大学)

参加費：会 員 3,000円 (当日 4,000円)

非会員 6,000円 (当日 8,000円)

学 生 1,000円

事前登録 (6月8日 締切)：家畜感染症学会 HP

(<http://www.kachikukansen.org/>) から

申し込み。

参加費は当日受付で支払い。非会員は事前

登録前に会員登録すれば会員価格で参加可

(当日、年会費と併せて支払い)。

問合せ先：家畜感染症学会 (旧 日本家畜臨床感染症研究会) 事務局

〒034-8628

青森県十和田市東二十三番町 35-1

北里大学獣医学部獣医学科

大動物内科学教室 大塚浩通

募 集

家畜共済事業に係る獣医師職員採用説明会のお知らせ

全国の農業共済団体の獣医師職員採用説明会を次のとおり開催します。

獣医学部 (獣医学科) 在学生, 卒業生の方はふるってご参加ください。

1 開催日時及び開催場所 (ほぼ同一内容で2回実施)

(1) 平成24年6月1日(金) 13:00～17:00

神奈川県相模原市 麻布大学8号館7階

「百周年記念ホール」(JR横浜線 矢部駅 下車)

(2) 平成24年6月2日(土) 13:00～17:00

東京都武蔵野市 日本獣医生命科学大学

「アリーナ」(JR中央線 武蔵境駅 下車)

2 内 容

第一部 13:00～14:00

全体説明 (農林水産省及びNOSAI全国による家畜共済, 産業動物診療を巡る状況等の説明, 現場獣医師の体験談など)

第二部 14:00～

個別ブース説明(各農業共済組合連合会等の

担当者, 獣医師職員による各県個別の説明)

3 参加申込等

他大学の学生, 既卒の方も参加歓迎いたします。

事前の参加申込は不要ですが, 会場等の都合もあるので, 氏名, 大学名, 学年, 参加希望会場を下記連絡先までお知らせください。

〈連絡先〉

☎03-3263-6416 FAX 03-3221-7795

E-mail: juuishi@nosai.or.jp

担当: 全国農業共済協会

企画研修部 土居・横尾・大崎

募 集

'12年 夏季野生動物保護（臨床医学・看護） セミナー研修生の募集

目 的：野生動物や自然に関心のある学生たちに、野生動物保護（傷病保護・希少種保護）の実際を教育し、生命の尊さと自然の大切さを学んでもらうこと

対 象：獣医系学生（原則3年生以上）、動物・看護系学生（高学年）、獣医師及び動物看護師ら一般

定 員：20名 ※超過の場合は選考

期 間：7月31日(火)～8月21日(火)の3週間、金曜日と火曜日スタートの班に分け、7泊8日の1週間を1クールとする

セミナーの内容：

- ①講義／野生動物・自然、野生動物の医療・看護（捕獲・保定、診断、検査、治療、注射、外科処置、給餌・リハビリ、野生復帰）、希少種保護、ヒグマ・エゾシカ、道東の歴史・生活ほか
- ②実習／生体：保定、経口補液、強制給餌、採血、簡易血液検査ほか、遺体：鳥の体、注射法、接

骨・包帯等の処置、計測、解剖等

- ③作業／保護中の動物の世話（餌やり、糞出し他）、小屋の修理、草むしり等
- ④視察研修／標津サーモン科学館、オオカミのネイチャースクール
- ⑤自然観察／野付半島、釧路湿原

申込み：住所(〒)、氏名、年齢、性別、電話(FAX, E-mail)、学校名(学部、学科)と学年、受講の動機、希望時期を明記し、郵便かFAXで

最終締切：6月8日

問合せ：NPO 法人道東動物・自然研究所／道東野生動物保護センター

〒086-1151

北海道標津郡中標津町川西8-23

☎・FAX 0153-72-1333

E-mail : info@morita-ah.com

URL : <http://morita-ah.com/wildlifeeducation.html>

行事等案内

第26回 日本獣医臨床寄生虫学研究会の開催案内

日 時：2012年6月2日(土) 13:30～17:00

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科フードサイエンス棟中島薫一郎記念ホール

内 容：(順不同)

- ・「犬のリーシュマニア症」 松本芳嗣 (東京大)
- ・「輸入寄生虫病」 大前比呂思 (国立感染症研)
- ・「寄生虫診断と鑑定の難しさ」 荒木 潤 (目黒寄生虫館理事)

・「野生動物および園館展示動物の寄生虫病の

最近動向」 浅川満彦 (酪農学園大)

・「二次診療施設における寄生虫性皮膚疾患」

青木 忍 (Vet's Office S.AOKI)

・「偽寄生虫、コウガイビル」 早崎峯夫 (CHDラボ)

その他：参加費 2,000円

問合せ先：開催責任者 早崎峯夫 (新会長)

E-mail : tachikawa_hayasaki@yahoo.co.jp

行事等

- 4月3日：「緊急災害時動物救援本部」第1回会議に
矢ヶ崎専務理事他出席
- 4月4日：第11回学術・教育・研究委員会
- 4月7日：第1回関東・東京合同地区獣医師会理事会
に山根会長，矢ヶ崎専務理事出席
- 4月9日：中国地区獣医師会連合会定期総会に山根会
長出席
- 4月10日：第18回日本獣医師会雑誌編集委員会
：内閣官房と農林水産省等が実施する「TPPに
関する団体との意見交換」に山根会長出席
- 4月14日：動物愛護を考えるフォーラムに山根会長出席
- 4月16日：中央環境審議会動物愛護部に蔵内副会長
出席
- 4月17日：業務執行幹部会議
：平成24年度第1回理事会
- 4月18日：全国家畜衛生職員会第55回通常総会に
山根会長出席
：鶏病研究会総会に矢ヶ崎専務理事出席
- 4月23日：第14回産業動物臨床・家畜共済委員会
：第2回獣医学教育の改善・充実に関する調
査研究協力者会議に山根会長，矢ヶ崎専務
理事出席
- 4月26日：平成23年度原発事故における中線量率区
域の繁殖雌牛等を用いた体内汚染分布地図
の作成事業第2回検討委員会に山根会長，
矢ヶ崎専務理事出席

行事等案内

第22回全日本獣医師テニス大会のご案内

日時：平成24年10月27日(土)，28日(日)

場所：青野運動公苑アオノテニスクラブ

〒675-2404 兵庫県加西市油谷町639-3

☎0790-45-1845

主催：全日本獣医師テニス大会実行委員会
大会委員長 空田充弘

後援：日本獣医師会，奈良県獣医師会

参加資格：日本在住の獣医師とその家族，関係業務従
事者（獣医専攻学生，獣医関連企業からの
参加も歓迎（一人でも参加可））

大会内容：都道府県対抗，ダブルス戦（獣医師ダブル
ス，50歳以上ダブルス，女子ダブルス，
ミックスダブルス）の得点合計による団体
戦（27日(土)の試合終了後に懇親会あり）

参加予定：東京，大阪，静岡，富山，京都，奈良，
和歌山，岡山，鳥取，広島，兵庫，神戸から
100名（個人での参加及び上記以外の）
県からの参加歓迎

参加費用：25,000円（宿泊・懇親会費込み）
※28日のみの参加も可

申込締切：平成24年8月31日

問合せ先：大会事務局

〒639-1054 奈良県大和郡山市新町782-5
高橋伸明（たかはし動物病院）

☎・FAX 0743-52-0048

E-mail：shinmei@hera.eonet.ne.jp

URL：http://www.geocities.jp/
vet_tennis/index.htm

紹介

◎新刊

The spread of pathogens through international trade (国際貿易に伴う病原体の伝播)

Models in the management of animal diseases (家畜疾病管理モデル)

Qualitative risk assessment of the spread of foot and mouth disease by international trade in debone beef (牛肉の貿易による口蹄疫拡散の定性的リスク評価)

OIE (国際獣疫事務局) が発売している書籍のうち、
昨年発売された3冊を紹介する

The spread of pathogens through international trade (国際貿易に伴う病原体の伝播)

本書では、高病原性鳥インフルエンザやアフリカ南部・中東・東南アジアで発生している口蹄疫、BSE など特定の疾病のリスクの特徴を解説した後、特定の動物種や畜産物による病原体の伝播について説明している。また、リスクの軽減法についても紹介している。

論文や文献資料、OIE が行ったリスク解析の精査により、OIE の衛生基準に基づいて行われた家畜や畜産物の貿易が、家畜衛生及び公衆衛生上重要な病原体の拡散を防いでいると指摘している。

(定価：60ユーロ)

Models in the management of animal diseases (家畜疾病管理モデル)

OIE は、WTO のSPS 協定 (衛生植物検疫措置の適用に関する協定) に基づいて家畜を含めた動物と畜産物に関する貿易の安全基準策定を担っている。本書は、家畜疾病の制御と抑制を獣医行政が世界的規模でより円滑に進められることを目的とした、実務的な疫学の本である。

(定価：60ユーロ)

Qualitative risk assessment of the spread of foot and mouth disease by international trade in debone beef

(牛肉の貿易による口蹄疫拡散の定性的リスク評価)

本書は、地域限局的あるいは散発的な発生により OIE による口蹄疫の清浄国の指定が受けられない国や地域に、牛肉による口蹄疫ウイルス伝播・拡散のリスクを減じる方法を紹介したものである。生肉や畜産物中の口蹄疫ウイルスの生存に関する章もある。我が国は、口蹄疫の清浄国であるが、口蹄疫及び口蹄疫ウイルスを知る上では有益な書である。

(定価：30ユーロ)

(3冊とも英語、仏語、西語により出版されている)

判型：A4判

問合せ：

OIE (World Organization for Animal Health)

12 rue de Prony, 75017 Paris, France

TEL : 33 (0) 1 44 15 18 88

FAX : 33 (0) 1 42 67 09 87

E-mail : oie@oie.int

URL : <http://www.oie.int>